幼児だより　11月号

2022.11.1 発行

みどりの運動遊びの日

たくさんの応援ありがとうございました！お母さんやお父さんに見てもらえて大喜びで、練習以上の力を発揮していました★
運動遊びを通して他クラスへの興味や憧れを持ち、遊びの中で色んなことに挑戦し、運動遊びの日でつけた自信を活動や遊びの場で発揮してくれています！

ハロウィン

子ども達が楽しみにしていたハロウィンの日！今年は、自分で自分のしたい仮装を作ってなりきって楽しみました。仮装して友だちを驚かすのが楽しかったようで「おばけみたいやな」「猫みみ可愛いな」と友だちの仮装を見て褒め合う子どもたちでした☆

芋ほり遠足

芋ほり遠足に行ってきました！！！
畑に行くと、さつま芋以外にもたくさんの実りがあり、落花生・ねぎ・里芋など色んな実りに触れて、匂いを嗅いだり、収穫を楽しみました。
土を掘り進め、さつま芋が出てくると大喜び☆
たくさんの虫もいて、「かぶと虫の幼虫や」など自分達の知っている虫に当てはめて思い思いに虫の名前を口にしていました。

戸外遊び＆お散歩

涼しくなって動きやすい気候になり、子ども達はこれまで以上に活発に遊んでいます。
運動遊びの日にしたダンスやリレーなど子ども同士教え合い遊んでいます。
公園で遊ぶのが好きな子ども達はお散歩が大好き♡秋の自然に気づき、落ち葉や木の実を集めたり、走り回ったり、鬼ごっこしたり元気いっぱいです。

自分でこいでみたい！！！

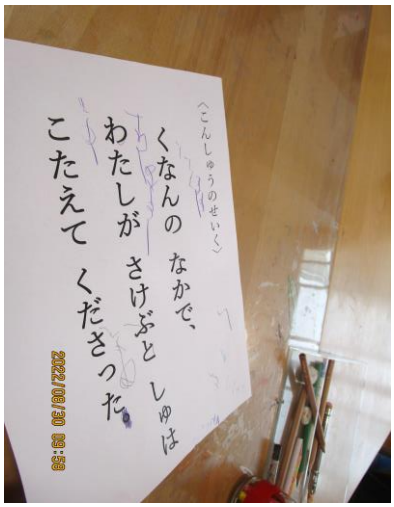
暑かった夏が終わり、久しぶりに公園にいった時のことです。
ブランコに乗ると「押して」という子がいます
その言葉を聞くと、優しさのスイッチがオンになったお兄さんやお姉さんが年下の子の背中を優しく押してくれるんです★
Ｎちゃんも背中を押してもらいブランコを楽しんでいました。
すると隣から「足をな、こう曲げたらこげるねんで」とＳちゃんが教えてくれました。
それを聞いてやってみたい！と思ったＮちゃんは押してもらうのを止めて、漕ぐことに挑戦し始めました。

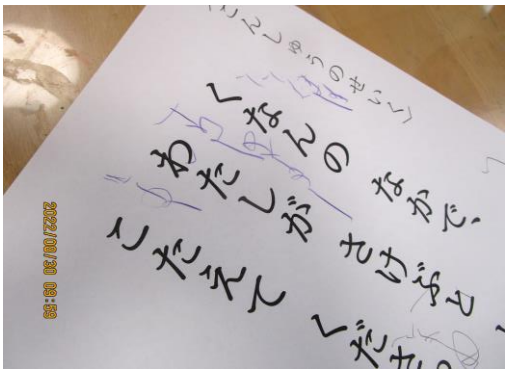
少しずつ慣れてくると Ｓ ちゃんと同じくらいの高さまで漕ぐことができました。
そのことがうれしかったようで
「Ｎちゃんと Ｓ ちゃん同じ高さ」と
とても楽しそうに笑っていました♡

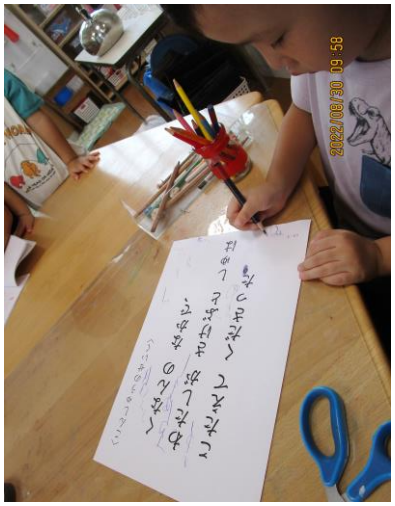
最初は保育士や年上のお兄ちゃん・お姉ちゃんに背中を押してもらって楽しんでいましたが１つのヒントをきっかけに１人で漕ぐ漕ぎ方を教わり、段々と出来るようになりました。

ブランコにはいくつかの効用があります！！！
① 筋力がつく②調整力がつく③判断力がつく④チャレンジ精神が養われる。などが考えられます。日常の生活ではなかなか味わえない状態を、経験出来るブランコは、子どもにとって魅力的であり大事なものだなと感じました。
子どもの成長を感じ、自分でやってみたい！のスイッチを見逃さないようにしたいです。

興味が出てきたんだね。







　この写真は夏に撮ったものです。聖句が書かれた用紙が遊びのプリントになることもよくあります。Mちゃんはらっこぐみの3歳児。色鉛筆を持って、もともとある文字の横に真似て書く遊びをしていました。自分の中で、文字に憧れ、書いてみたいと思ったのでしょうか…。こんなかわいい姿を見せてくれました。「なに書いているの？」と尋ねると、「これこれ！」と聖句の字を指さして教えてくれました。ちょっとお姉さんになった気分でわくわくしながら書いていたのかも知れませんね。

　そしてこの秋。また、文字らしきものを書いて遊んでいました。「なに書いているの？」と夏と同じように尋ねると、「ママ、すきって書いたの」と、しっかりイメージして書いていて、夏からの成長を実感しました。始めは字を真似て、自分の中での字らしきものを書くことから、何を書くかをイメージして書く姿に成長し、次は、文字が読めるようになり、書けるようになるんだろうな、と想像がつきます。子どもそれぞれ、興味が沸く時期は違いますが、いわゆる『こくご』を子どもたちは学んでいっているのだと思います。

どうやったらいんだろう？

お部屋でドミノをしていたＨくん。
「ぐねぐね道がいいねん！」と言ってどんどん並べていました。
しかし、何度してもぐねぐねのところがうまく倒れず途中で止まってしまっていました。
「うーん、なんでや」「どうしたらいいん」と困っていると…

友達もやって来て「こうしたらいいやん」
「これでできるんちゃう？」と言って今度は3人で何度も挑戦していました。
が、しかし何度してもカーブの所で止まってしまい、最後まで倒れませんでした。
どうしたらうまくいくのかとずっと考えていたＨくんが思いつきました！

「まっすぐにしたらいいやん！」と言って、
今までこだわっていたぐねぐね道をやめてただまっすぐに、でも長く並べていきました。
すると…
まっすぐに並べたドミノは倒れやすく、
最後まで止まらずに倒れました！
「やったー！！」と、大喜びのＨくん。
もう一度並べて楽しんでいました！！

ぐねぐね道が作りたかったＨくん。何度やってもうまくいかず困っていました。すぐに保育士が入って一緒にすることも考えましたが、何度失敗しても諦めることなく「どうやったらいいんやろう？」「こうしてみよう」と、たくさん考えて挑戦していたので様子を見守ることにしました。
ドミノの置き方を調整したり、違うやり方を試したり、友達と意見を出し合ったり、「手伝って」と、保育士に助けてもらうこともなく、遊びの中で自然と学び、色々なことを発見している姿がステキでした！！
今回は、本来したかったぐねぐね道は成功しませんでしたが、まっすぐだと倒れやすいということを学びました。
きっとこの学びが次の遊び、学びへと繋がっていくことと思います。

「あれ？」は成功のもと！

ハロウィンが近づいてきて、思い思いに自分の仮装用の衣装を作る子ども達。
Ｄくんはガイコツの帽子を作っていたので、その続きでガイコツの服も作ることにしました。

「ほね」の絵本を見ながら白いテープで骨を貼っていきます。骨の絵をじっと見ながら作っているＤくん。肋骨の一番下は背骨にはくっついていないということに気付きました。
凄い観察力です。
「うえの ほねより みじかいね」と
気付いたことを声に出しながら作っていきます。

「あれ？穴が開いちゃった。」とＤくん。
よく見ると土台になっていた黒いビニール袋に穴が開いています。テープを切る時に下のビニール袋も同時に切ってしまったようです。

「切る時にテープと袋が近くて、穴が開いちゃったんだね」と保育士。

開いた穴はセロハンテープで塞いで、衣装づくりを再開します。
反対側の骨を貼る時、Ｄくんはテープを先に切ってからビニール袋に貼っていました。

Ｄくんは「あれ？」と思った経験から次同じことが起こらないためにはどうしたらいいか、自分で考えていました。
「失敗は成功の元」素敵な言葉ですね。失敗しないことよりも、経験から何に気付くか、次にどう改善するかが大事だと感じました。